

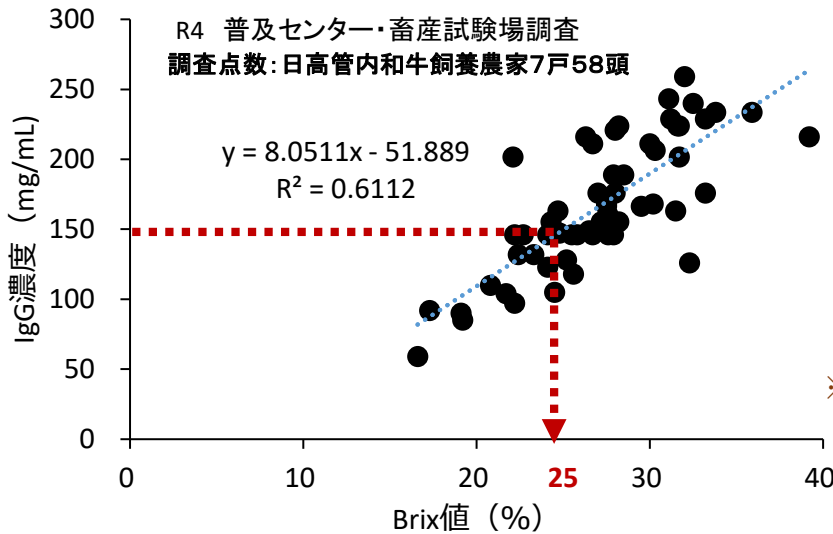
# 初乳給与の徹底を

2023年4月  
日高農業改良普及センター畜産部会

## 1. 初乳の糖度(Brix値)と免疫グロブリンの関係は？

※IgG(免疫グロブリン)濃度は初乳の品質を知る最も良い指標とされています。

### 黒毛和種牛の初乳Brix値とIgG濃度

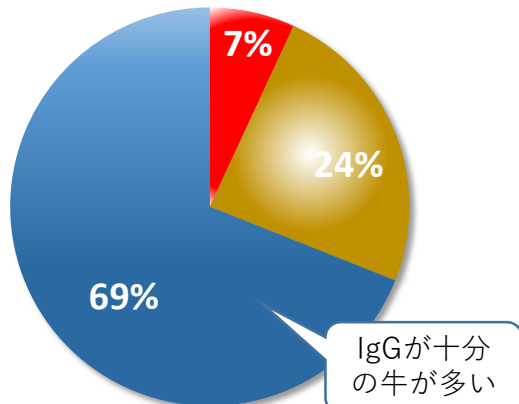


Brix糖度計

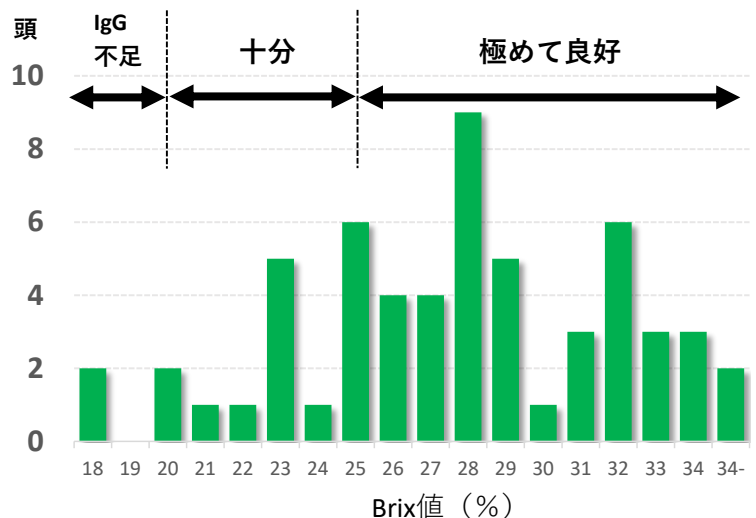
※普及センターにBrix糖度計があるので、ご相談下さい。

- ・ Brix糖度計で初乳のBrix値を調べると、ある程度IgG濃度が分かります
- ・ 初乳のBrix値が25%ならIgG濃度は約150mg/mlで、十分な濃度です。

## 2. 日高の黒毛和種の初乳Brix値・IgG濃度は？



- 20 (IgG100以下)
- 20-25 (IgG100-150)
- 25以上 (IgG150以上)



- ・ 和牛の初乳には、乳牛よりIgGが多く含まれています！  
乳牛 平均値約 65mg/ml  
和牛 平均値約 167mg/ml

**良質な初乳を活かすため「確実に飲ませる」ことが重要！**

※乳牛は過去の試験場調査、和牛は日高管内調査の平均値です。

### 3. 初乳が大事なわけ



病原体から身を守る  
免疫を獲得できる

- ・ 子牛は抵抗力が弱い
- ・ 初乳を飲むと腸管から  
IgG=抗体を吸収
- ・ そして血液中に移行する



初乳・初乳製剤	IgG量
初乳製剤A	60 g / 袋
初乳製剤B	80 g / 袋
黒毛和種初乳	167 g / L

※黒毛和種初乳は日高管内での調査の平均値です。

和牛の初乳は超良質！

初乳製剤2～3袋分のIgG量！

IgG量必要量は100gが目安

### 4. 親付けの場合の管理

○今回調査協力頂いた農業者7戸の特徴

- ・ いずれも初乳は親付け哺乳。
- ・ 分娩後の増飼は必ず行っている。
- ・ 出生直後～3時間以内に初乳給与を確認。
- ・ 下痢5種ワクチンは半数以上で実施。

**基本は徹底！**

○管理法は様々ですが、工夫されている事例をいくつか紹介します。

親付けの場合、初乳を  
飲んだか確認しづらい  
ですが…



初乳を飲むまで子牛を見守る



親が子牛に乳を飲ませない時  
は、介助して飲ませる

#### その他の工夫事例

- 母牛の近くに連れて行き、飲んだか乳頭を観察する
- 乳頭が濡れているか、乳房の張りで飲んだか確認
- 搾って出るか確認する
- 乳頭の吸い付き場所が頻繁に変わるのは足りていないと判断

**良質な初乳を活かすため「確実に飲ませる」ことが重要！**